

豐大報館

印刷 高知印刷株式会社

副議長には西岡丈氏

第五回目の大豊村議会議員選挙（四月二十五日投票）は全村民の注目と興奮のうちに即日開票され、二十六名の新しい選良が村民の付託をになって誕生しました。組織議会は五月十日開かれ議長に寺石由雄氏が選出されました。

教育委員に
秋山氏

組織会は五月十日午前十時開会、門田村長あいさつのおと、最年長の鈴木友茂議員が仮議長として議長席につき、仮議席を決めて議長長の選出に入りました。協議会の結果、指名推せんによることになり寺石由雄議員が第九代目の議長として選出されて議長席につき、大豊村議会議規則第三条の規定に基づく議員の議席の指定を行なったあと、副議長に西岡大氏を選出し、各常任委員会の委員を選任しました。提出された議案、教育委員任命同意議案、監査委員選任同意議案、昭和四十五年度大豊村一般会計補正予算専決処分

教育委員に
秋山氏

居の秋山信吉氏(54才)が任命されました。

秋山氏は、昭和三十年五月から四十二年四月末日まで大豊村議会議員として連続三回当選、その間教育厚生委員、同委員長、議会議長などの要職を歴任している。そのほか学校歯科医長として、また現在は体育会副会長の職にあります。

一丸となつて
轉換期農政に對処



の改善及び農作物の病害の防除、⑥農業生産力の増進、農業経営の合理化、農民生活の改善、⑦農業生産、農業経営及び農民生活に関する調査、⑧農業及び農民に関する改善の点もありますが、

立たされ
ます。佐
る農業委
かる同の
取り卸
ません。
村当局
係機関と
保つこの
力を仰い
的構想の
つて一九

（建設係）係長阿波井清次
郎、主任主事森尾五郎、
主事上村仁、同吉永磯、
同吉川健策、主事楠佐竹
範久、同吉松英喜、同平
石安央、同島村忠秋、同
三谷幸一郎
（土地改良区）書記下村千
加子
（林業係）係長阿佐嘉浩、
主事吉村文男、同小笠原
長猪

常任委員

ばなりませんのでこの機会に私のこれまで考えておりました農業委員会のあり方と今後の方針につき、所信の一端を申し上げますと存じます。

昭和二十六年三月に制定されました「農業委員法」第十五、元一、新十となっております。

なお、今回の選挙を最後に小選挙区制は終止符がうたれ、本年五月一日以降に行なわれる選挙からは全村一区によって行なわれること

等の利用関係の調整、②土地の交換分合のあっせんその他農地事情の改善、③農地等の利用関係についてのあっせん及び爭議防止、④農業及び農村の振興計画の樹立及び実施の推進、⑤農業技術

とになります。

常任委員

決まる

常任委員会委員は次の通りです(◎委員長○副委員長)

事項についての啓蒙及び宣伝等でありますが、従来やもすれば一般農業者の方々のなかにも農業委員会は農地や採草地等売買取換、作付や地目変換の許可手續或は農地に關連する爭議の調停等

今さら私が申し上げるまでもなく、我が国の農業はみず穂の国始まって以来のかつてない試練にさらされているのであります。『総合農政の推進』、『米の生産調整』その他誠に重大な時期に

芳雄、上村周一郎

△産業經濟常任委員会▽
◎美濃英由◎西村彦四郎、大坪俊郎、吉川永晴、山中茂榮、西岡丈

△建設常任委員会▽
◎秋山弘安◎田辺正克、上村辰雄、小笠原武繁、桑名

△秋山弘安◎田辺正克、上村辰雄、小笠原武繁、桑名

△教育民生常任委員会▽
◎畑山善郎◎大地幸二郎、

ますので、何分共によろしく御指導御鞭撻下さいますようお願い申し上げます。会長就任のごあいさつと致します。

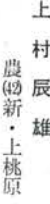
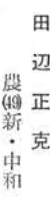
前野武盛、上村由雄、上村茂明、宮内正章

村職員配置の状況

主事上村幸一、同豐永正
 臣、同佐々木香代子、主
 事補森下広文
 〔農地係〕係長小笠原俊
 信、主事岡崎桃江
 〔水道係〕係長永野秀
 晴、主事村上村典義
 ◇住民課 課長三谷博親、
 課長補佐松岡行雄
 〔窓口係〕係長森下辰
 雪、主事豊永キヨ子、事
 務員西岡恵子
 〔保健係〕係長杉本信
 量、主任主事原勉、主事小
 笠原良延、主事柳都築康
 博、同下村信行、事務員並

新選良の顔ふれ

(議席順) 職業・年令・歴・住所

 上村辰雄 農協新・上桃園	 大坪俊郎 家畜協新・川井	 前野武盛 林協新・中央	 田辺正克 農協新・中和	 小笠原武繁 農協新・大王下	 上村由雄 会社員協新・落合
 小笠原茂 農協新・八畝	 上村茂明 医師協新・西土居	 宮内正章 農協新・葛原	 桑名芳雄 農協現・西梶ヶ内	 西村彦四郎 農協現・大畑井	 大地幸二郎 旅館協現・東土居
 松岡春美 農協現・日浦	 美濃英由 農協現・大王下	 山中茂栄 農協現・佐賀山	 畑山善郎 農協現・木村	 北村寿夫 農協現・永瀬	 西岡文 農協現・北川二区
 岡崎啓 医師協現・岩原	 寺石由雄 無協現・大田口	 鈴木友茂 農協現・刈谷			

村職員の配置状況

村長 門田盛一郎
助役 小笠原武美
◆行政課 課長秋山司、課長補佐笈義孝、同平尾俊一郎
（庶務係）係長鎌倉宏、主任主事桑名啓三郎、同今井一清、同山崎博資、同前田田集一、主事伊賀笑子、主事楠石原陽子、事務員丁野幸、技術職員三谷福賴、同中西金保、同上村初子、警備員上村雄喜、用務員上村コトエ
（財政係）係長近藤明、主任主事三谷岳生、同佐々木昭十郎、主事西村勝男
〔稅務係〕係長小笠原武生、主任主事松下健一、同原紀代敏、主事西村弘、同松村敬一、同安井長由、同上村佐智子、同三村悦子、主事楠前田正茂、事務員吉村和代、臨時筆耕秋山広子、同小笠原成子、同大利和美、同小笠原靜代
◆事業課 課長松高豊隆、課長補佐西岡仁司、同小川慶、臨時筆耕田口広美
（福祉係）係長笹岡桂助、主事秋山和義、同杉本周二郎、主事楠小松和一、同平石郷美
〔社會福祉協議會〕主事村田忠雄、主事楠中西美代子
（保育所）所長坂本みさ子（大杉）主任保母所長（兼務）保母西村宏子、同吉村キヨ、調理師永松龜吉（大田口）主任保母森下良尼、保母氏原敏子、同鶴村今子、調理師上村真智子、用人川本梅伊（天坪）主任保母橫田敏子、保母岡林文子、調理師西岡日出子（東豐永）主任保母橋村千津子、代用保母鈞井國子、調理師西川貞子、用人小笠原須規江（立川）主任保母浜田繁子、保母秋山美佐子（久寿軒）主任保母前田喜代恵、代用保母岡林春美（西峰）主任保母北村宏子、保母入野光子
（以下二面へつづく）

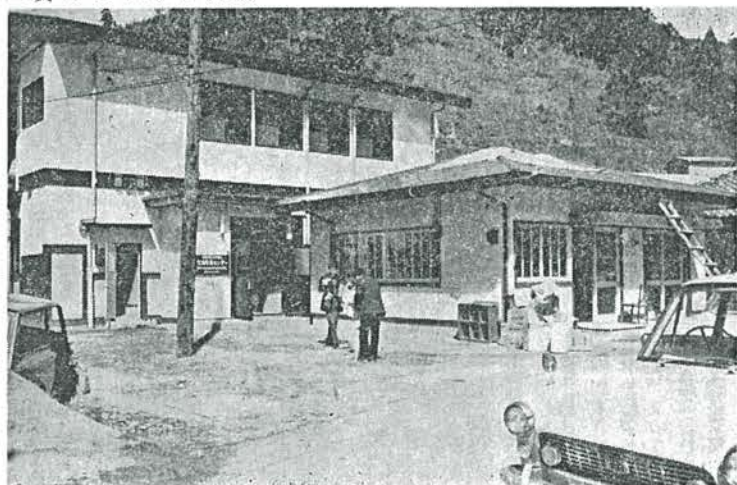
A line drawing of a doctor in a white coat and glasses examining a patient's back. The patient is seated, and the doctor is standing behind him, looking at his back. The doctor is holding a small object, possibly a stethoscope or a reflex hammer, near the patient's back.

六月二日現在で転出をして四ヶ月を経過した者は

生活改善センター 役場支所も同時完成

天坪

建物は一階一〇九平方
米、二階一〇四平方、延
べ二二二平方で調理実習
室、和室、研修室にわか
れ、これらの機能を十分に
発揮できるように諸器材の
充実もされております。工
事費は七五〇万円、設備費
七三三万円、合計八二三



万三千円を要しています。ここに新築移転しまし
また、旧天坪支所は施設。工費一七〇万円、面積
が実情に沿わなくなってきた。四九平方のこじんまりと
たこと、二階を縫製工場にした事務室に駐在保健婦室
貸与したことなどに加え、を合せて設計し内外共に
て、この生活改善センターに立派な建物。
の円滑な管理を期するため、この二つの施設の用地は

天坪地区生活改善センターと役場天坪支所が同時に完成し、去る五月一日
地区をあげて盛大な落成式を行い完成を祝いました。この生活改善センタ
ーは山村振興法に基づく振興山村として指定を受け、国庫の助成を受けて戸
手野の国道沿いに建築したもので昨年十一月十一日に着工し本年三月二十五
日に竣工しました。

大田口に 蚕 共同飼育所も完成

昭和四十五年度農業構造
改善事業の一つとして、昨
年十一月十日に着工してい
た「大田口蚕共同飼育所」
が三月末に完成し、去
る四月十七日関係機関はじ
め地元民多数が参加して盛
大な落成式を行い投げ餅
などの行事でにぎわいまし
た。



これは、大豊村農協が黒
石の旧吉野川木材あとの埋
立地に建築していたもので
改修事業の一として、昨
建坪五五九・二六平方の
額五百五十二万二千円を
かけて完成したもので、工
事は鎌倉建設（高須）が担
当、稚蚕飼育量は一回五百
箱（五千マ）を飼育するこ
とができ、地域養蚕に果す
役割は大きいものがあり
ます。
↑写真は完成した稚蚕共同
飼育所

農林業に夢を託す 大豊村4日クラブ

伸びゆく若い芽の集い

新緑の五月十六日、高知
県青年クラブ連絡協議会
の主催で「第一回高知県4
日祭」が開かれました。
より強く、より明るく、
より豊かに未来にはばたく
我等の仲間、というスロー
ガンのもとに集まったクラ
ブ員やOB達は八百名。そ
れに新就農者、県・市町村
農林業指導者、学校クラブ
員などで会場の高知市土佐
女子高校体育館は若さの熱
気一杯でした。
「県下の4日クラブ員が一
堂に集って、日頃の活動成
果をわちあひ、これを地
域に反映させ、共に、新就
農者を激励し相たすええ
て、これからの農業の担い
手としての気概を高める」
という趣旨のもとに新就農
者を激励し、農林省農業者
を激励し、農林省農業者
大学の和国金次先生の「農
村青年に訴える」と題した
記念講演、新就農者や若い
経営者夫婦を交えたパネル
討議、アトラクション、ク

ラフ活動の実績展示等数多
く、行事を行ない、最後に
参加者全員による市内パレ
ードで大会の幕をじまし
た。
地元大豊からは三十五名
という数多くの青年が参加
しましたが、これは今まで
に例がなかったことで、次
第に若い芽が農林業に向け
られてきたことによるもの
と思われまふ。本大会には
盛り沢山の行事が組まれて
おりましたが、中でも大豊
4日クラブの活動状況を示
す展示物は特に人々の注目
をあつめておりました。ま
また上橘原の上村君代さんら
新就農者、OB、助言者等
が交えた「変革期の農業と4
日クラブ活動」と題するパ
ネル討議や講演は考えさせ
られるところが多分にあり
ました。最後の高知学園小
学校の鼓笛隊の先導で農林
部長、県連会長を先頭にし
た整然とした市内パレ
ードは大会のふんいきを盛り
上げました。



◆4日クラブってどんなこ
とをするの？私、私で
もクラブ員になれるの？
……不安と期待をもち
て参加したこの大会、会場
に集まった多勢のクラブ員
……そのひとりひとりが
新しい農業経営について勉
勵し激励しあっている、な
んとすばらしいことなで
しょう。参加してよかった
と思います。
◆県内農村青年の意見発表
を聞き現在の我々の立場を
再認識すると共に「やらね
ばならぬ」という意欲をわ
かせる意味で大変有意義な
大会であった。
◆初めて出席してみても農
業をしようとしている人が多
いとおどろいた。これら
らも大いに参加させてもら
おう。
◆自分の意見を強く主張し
これからの農業をよりまし
くまた苦勞してもそれだけ
のやりがいがあったことが
実感として残るようになった
たいと、この大会を通じて
感じました。
◆大豊の農業の将来にはや
はり今日のような行事を繰
り返しお互いが共に考えて
いく以外にはないと思う。
その意味において本日の4
日祭は大変意義深いもので
あった。特にパネル討議は
若い就農者とその指導的な
人とを交えたことが最高で
あった。
以上のように参加者ひと
りひとりがそれぞれ大会の
中味をつかんで帰りました
。この大会に参加できな
かった人々にもこうした燃
えるような意欲と情熱を伝
え共々村の農業を担ってゆ
きたいと思ひます。最後に
木大会に御協力下さった村
長さん始め事業課長、普及
所長、同所員の方々に厚く
お礼を申し上げます。
高知公園で記念撮影のク
ラブ員

参議院議員選挙

投票日 6月27日

- ①投票日は 六月二十七日(日)
- ②投票用紙の色分けにより 地方区と全国区と二つ投 票があります。
- ③名簿の関係 イ 基準日 六月二日 ロ 登録日 六月三日
- ④年令要件 六月二十七日現在で満二 十才に達する者は六月三 日に名簿に登録されるこ とになります。
- ⑤名簿から消される者 て下さい。
- ⑥4日クラブってどんなこ とをするの？私、私で もクラブ員になれるの？ ……不安と期待をもち て参加したこの大会、会場 に集まった多勢のクラブ員 ……そのひとりひとりが 新しい農業経営について勉 勵し激励しあっている、な んとすばらしいことなで しょう。参加してよかった と思います。
- ⑦県内農村青年の意見発表 を聞き現在の我々の立場を 再認識すると共に「やらね ばならぬ」という意欲をわ かせる意味で大変有意義な 大会であった。
- ⑧初めて出席してみても農 業をしようとしている人が多 いとおどろいた。これら らも大いに参加させてもら おう。
- ⑨自分の意見を強く主張し これからの農業をよりまし くまた苦勞してもそれだけ のやりがいがあったことが 実感として残るようになった たいと、この大会を通じて 感じました。
- ⑩大豊の農業の将来にはや はり今日のような行事を繰 り返しお互いが共に考えて いく以外にはないと思う。 その意味において本日の4 日祭は大変意義深いもので あった。特にパネル討議は 若い就農者とその指導的な 人とを交えたことが最高で あった。
- ⑪以上のように参加者ひと りひとりがそれぞれ大会の 中味をつかんで帰りました 。この大会に参加できな かった人々にもこうした燃 えるような意欲と情熱を伝 え共々村の農業を担ってゆ きたいと思ひます。最後に 木大会に御協力下さった村 長さん始め事業課長、普及 所長、同所員の方々に厚く お礼を申し上げます。
- ⑫高知公園で記念撮影のク ラブ員

■わたくしには戸籍があります

戸籍は、わたくし日本国民の登録です。全国の
市区町村で取り扱っています。各人の戸籍があるこ
ろを「本籍」といいます。



■あなたの家族関係は戸籍で証明されます

相続の場合や各種の年金の受給を受ける場合などに
は、家族関係を証明する資料として、戸籍が重要な役
割を果たしています。そのほか、入学、就職、各種の
取引などをする場合にも、戸籍が利用されることが少
なくありません。



■戸籍のしくみ

戸籍は、一組の夫婦とその子とを単位として作られ
ます。
子が生まれると、その子は父母の戸籍に入ります。
そして、その子が成長して結婚すると、父母の戸籍か
ら出て、新しく夫婦の戸籍が作られるのです。



(1)

橋詰延壽

昨年（昭・43）七月末、長岡郡東豊永小学校校長豊永茂盛先生に私の文政館で御目にかかった。なお先生は現在高知市城北町六五〇二（電話73-3038）にいない。」とビンと来た。そこで早速豊永先生に、是非一度現地にしたいと思えますからよろしくとお願いした。以来九〇日目やっとその機会を得た。昭和46年大豊村の教育委員会に行くと、今日は改選後の初の組織議会であるというのでごた返しに、それにもかかわらず私の調査のため、社会教育係長の中西

丁度土佐史談会と興教育委員会共催の郷土史講座を開催、その講義の中に富永有隣と郷土の關係について平尾道雄先生の講義があった。その話を聞いた直後のことである。

「富永有隣がかくれているという大きな岩——有隣岩——というのが私の村にあります。」という話。私はいつかこのことを平尾先生にも話した。「ああ、そうですか、豊永での捕縛が濃厚の有隣が非常の時隠れたという通称有隣岩の入り口



早期発見・早期に治療

1、ガンとはどんな病気でしょうか

医学の進歩した今日でもガンほどおそろしい病気はありません。

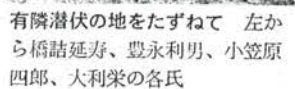
ガンは早期のうちに見つけて、すぐ治療しないと必ず死ぬるからであります。ではガンという病気の本態は何かといいますと、それはガン細胞であります。元来、私どもの身体は無数の細胞から成り立っていて、それぞれの細胞がお互にチームワークをとりにながら一定の統制のもとに活動し全体としての生命を維持成長させているのであります。

ところが何かの原因で身体のどこかにガン細胞という特殊な細胞ができますとこれがドンドン繁殖してガンになります。このガン細胞は非常に兇悪な暴れん坊でありまして成長繁殖力が非常に強く他の健康な正常な細胞を押しつけて繁殖し勢力を延して次第に大きな塊となり、さらに又血管やリンパ管などに入って別の場所に飛び火し、いわゆる転移巣をつくります。そして次第に全身をすい弱させて、ついに死に到らしめるのであります。

たとえば胃がんは最初は胃の粘膜にできた小さなガン細胞がだんだんと大きく深く繁殖し、やがては腹膜に達して周囲のリンパ線や

盛興さんが案内してくれた。

車は、国の指定国宝の豊樂寺の葉師堂のそばを通って、東寺内で下車する。ここから徒歩約三十分、時々樹の間から吉野川の溪流が



り降りたりして十一時半
私ら二人は大豊村柅ヶ内五
八四の豊永利男（67 歳）
のお宅についた。途中の道
も草刈りをしてくれてあっ
た、心あたたまる歓迎に感
謝した。

当主の豊永利男さんは、
戦時中は村役場の主事で企
画を担当、それに選賢壮年
団長であったので公職から
追放をうける。その後は高
地は、豊永さんの庭園か
は、はるかの真下に見え
る。柅ヶ森、杖立とこの築
山は大きい。

雲はれて
樹木は白し柅ヶ森
ふけゆく
初冬夕空に映ゆ
これは当主豊永さんの作、
松木ふじ子選高知新聞発表
ものである。

和田和こども会

早明浦ダムを見て

三年 大坪澄子

家を八時半ごろに出て雨の中を、かさをさして駅へ行ってみると、まだバスが来ていませんでした。一時間ぐらゐ待っていたらバスが来たのであわててのつ

て、本山の老人ホームと早明浦ダムを見学に行きまし

はじめに老人ホーム前でバスからおりて老人ホームに入りました。老人ら病気をしたおばあさんやおじいさん達をみて、かわいそうに思いました。私達は、あまり詳しいのもできいていませんが笛やハモ二子を吹いたり歌を歌ってお年よりの人達に聞かせてあげまし

うを食べて早明浦へ行くうを、きかいで石をこわして



下の砂の上に小さくした物を、きかいのそばに、山はどつていました。大人のひととはえらいなあと思いました。帰りは、のどじまんをかわりばんこに歌いながら帰りました。雨が降ったけれど楽しかった。

編集後記

◆早いものです。ことしも今月で半分過ぎることになったわけですが皆さんお元気ですか。

納期月です

六月は村県民税の第一
分の納期月です、早目
に納納するようにいたし
よう。

完納は明るい

我が家の合言葉

猪さんは、明治期で土地では最初の捕ほであり警察官である（明治31年（一九〇〇年）50才で死亡）。その妻幾号さんは、昭和16年まで生きて92才で死亡。この幾号さんが富永有隣の顔も見ている。記憶力も強く子供さんや孫さんに語ったものがある。

有隣が土佐に潜伏したのは明治3年（一八七〇）であるから、この時、多左猪さんは22才、妻の幾号さんは21才となる。明治11年捕縛されているからこの夫婦は30才と29才である。行動力も旺盛であるし、記憶もよい年令である。この幾号さんが、ただ一度富永有隣の顔を見た。秋のこと稲たばを負って分家の前まで来た時、客せんち（上の便所）から出た有隣と視線がビタリ「ミッチャ」の顔、眼が一方失明している。大男でおよそしいような姿であった。一方有隣もびっくり、顔を見られた。そこで潜伏している分家のおうたさん「困った、いまこうした女に顔を見られた。あの人は口外するのじゃないだろうか。」とさきも回り果てたようすである。

おうたさんが「大丈夫です、あれは木家の幾号さんですよ。そんなことを云う人ではありません」これで有隣はほっと安心。さてこの脱藩志士はどうした人物か、次号から、彼の潜伏中の略伝を述べることにする。（つづく）

税務大学研修生の採用試験 国税局では
国家公務員初級試験の一環として税務大学校普通科研修生採用試験を行なっています。

昭和46年度の採用試験要領は次のとおりです。

- 1、受験資格 昭和26年4月1日から昭和29年4月1日まで生まれた男子
- 2、受付期間 昭和46年7月10日から同年7月30日まで
- 3、第一次試験 昭和46年10月3日(日)教養試験
適性試験および作文試験
- 4、第二次試験 昭和46年10月下旬から11月上旬までの間の1日、口述試験および身体検査
- 5、試験地 ①第一次試験
地高知、中村、高松、松